

**J** **apanese text**

2018年 秋/冬号 日本語編



**知られざる日本の秘宝、大分**

撮影＝小野祐次、西山 航 (p.49)  
文＝編集部 地図＝ハニージ

p.044

日本には未だ、あなたの知らない秘境がある。九州、大分の国東半島。そこは神様と仏様がともにその地を守り治めながら、悠久の時を刻んできた、日本でも稀有な風土を持つ土地である。この秋、神仏習合 1300 年を迎えた国東半島。清らかで静謐な地へ、いざ出かけてみようではないか。

はちまん な だぐう  
**八幡奈多宮**

宇佐神宮の別宮として奈多海岸に創建されたと伝わる。国の重要文化財に指定されている三神像を収蔵している。海岸の沖合い約 300 mにある市杵島という小島が元宮で、そこに主祭神である比売大神が降臨したと伝えられることから、海に浮かぶ岩礁に鳥居が建てられた。鳥居の向こうから昇る朝日が美しい。p.48 map A

さんじゅうぶつ  
**三十仏**

国東市の岩戸寺というエリアにあるが、ほとんどの地図に掲載されていないほど小さなお堂。住職はおらず、地域の人々がこの場所を守り保存している。鬱蒼と茂る杉林の先にある苔むした石段を上ると、祠に祀られているのは 30 体の仏様。1ヶ月を 30 日として、毎日 1 体の仏様が国土を守ってくださるという信仰が、今もこの地に根付いている。p. 48 map B

(p.046)  
う さ じんぐう  
**宇佐神宮**

全国に 4 万社余りある八幡様の総本宮である宇佐神宮。八幡神を祀るとともに、中国から伝来した仏教文化と日本固有の神道がここで習合し、神仏習合発祥の地として今も全国から崇拝を集めている。神と仏の間に一つの垣根もなく、両者が完全に溶け合った宇佐神宮は、全国でも稀な存在である。上宮本殿は国宝に指定されている。p. 48 map C

もんじゅせんじ  
**文殊仙寺**

648 年開基と伝えられる六郷満山随一の古刹。知恵の仏として日本津々浦々で信仰されるご本尊、文殊菩薩は秘仏とされ、12 年に一度、卯年

にだけで開帳される。写真の奥之院は、岩山の斜面に一体化した懸造りとなっており、天気が良ければ境内からは瀬戸内海を挟んで四国や本州の一部まで望める。宿坊体験もおすすめ。p. 48 map D

あきよしぶんりょう  
**秋吉文楊**

天台宗 峨眉山 文殊仙寺 副住職。宇佐国東半島を巡る会 宇佐神宮六郷満山霊場会 副会長。

くまの まがいぶつ  
**熊野磨崖仏**

およそ 900 年前の作といわれる国指定重要文化財。大分県最古の石仏は、向かって右が高さ 6.8m の大日如来、左が高さ 8m の不動明王。通常は憤怒の表情で描かれる不動明王だが、熊野磨崖仏のそれは柔和で愛らしい。この磨崖仏への参道は、自然石が積み重なった荒々しい 99 段の階段。人食い赤鬼が一夜で積み上げたという伝説が残っている。p. 48 map E

p.047

**神と仏が融合し、稀有な文化がこの地に生まれた**

大分県といって真っ先に人々の頭に浮かぶのは別府や由布院、竹田などの温泉地だろう。たっぷりと湧き出る湯、数々の名旅館、豊かな海の幸山の幸。この地に流れる心地よい時間は旅人を優しく癒してくれる。しかしこの県にはもう一つ、本当の意味で人の心を浄化させるパワーエリアがあることをご存じだろうか。それが今回ご紹介する国東半島だ。

本州南端と四国に顔を突き合わせるように飛び出た国東半島は、六郷（谷で隔てられた六つの里）満山（集合体）と呼ばれる。この半島では中国から伝えられた仏教がいち早く栄え、そこに山を修行の場とする修験者たちの山岳密教（神道）が共存する形で、神仏習合文化が発展・醸成。神社と仏閣が互いを受け入れながらその歴史を刻むこととなった。平安時代（794～1185 年）に書かれた「豊後国風土記」には奈良時代の 718 年に仁聞菩薩がこの六郷満山を開いたとあり、今年 2018 年が開山 1300 年の節目の年となる。

明治元（1868）年の神仏分離令発令以降も、ここ国東半島では今も神社と寺院が手を携え、神仏習合がごく普通に人々の暮らしの中心にある。文殊仙寺 秋吉文楊副住職は言う。「国東半島は歴史的に、中国大陸との文化交流の関所でもあ

りました。様々な人が行き交い、様々な信仰がここで垣根なく溶け合った。この地の人々の受け入れる力、順応力の高さが生んだ独特な文化が、今もこの地に根付いているのだと思います」。そうした国東人の気性は現代にも継承されている。新しい創造の機運が、まさに今ここで高まっているのだ。国東ならではの財産をもっと活用しよう、発信していこうという人々が、自然発生的に国東半島へと集まり始めている。融合し、化学変化を起こし、創造する——奈良の時代から未来へ、神仏習合のDNAは確実に受け継がれている。

p.048

## 国東半島の魅力を訪ねて

80を超える神社仏閣に守られた国東半島。年間を通して祭りも多く、中でも早春に開催される「修正鬼会」と、10月に開催される「ケベス祭り」の二つの火祭りがハイライトといわれる。どちらもたいまつしゅじょうにえの火の粉を撒き散らし、人々の無病息災を祈願するものだが、特にケベス祭りはその激しさと異様さで、日本でも珍しい奇祭といわれている。

また、自然もあるがままの姿で残っている国東は、国際連合食糧農業機関（FAO）が制定した次世代へ受け継ぎたい農業地域「国東半島・宇佐の農林水産循環」として世界農業遺産に認定されている。豊かな生態系、そこで育まれる農耕文化、食文化は、国東半島ならではの魅力だといえよう。

まさに今、実りの秋が始まる季節。美しい紅葉、神仏習合1300年を祝う数々の祭り、澄みきった空気に満たされた国東半島へ、ぜひ足を運んでみてほしい。

### 長安寺

花の寺とも呼ばれる。ここに収蔵されている国指定重要文化財である子供の姿をした木造太郎天像は、国東半島の神仏習合が生んだ独特の彫像。map F

### 富貴寺

富貴寺大堂は、近畿地方以外に存在する数少ない平安建築で、九州最古の木造建築。日本三阿弥陀堂の一つに数えられている国宝である。map G

### 五辻不動尊

標高362mの不動山の山肌に張り付くようにある岩屋は修験者の霊場。足場の悪い急な山を登るが、ここからの眺めは絶景。遠く姫島も望める。map H

### 両子寺

六郷満山に集う修験者たちの修行の中心地として栄えた。山門に続く石段の両脇には国東半島最大級の石造りの仁王像が立っている。map I

## 国東半島へのアクセス

〈飛行機で大分空港へ〉

東京国際空港（羽田）から約1時間30分／成田国際空港から約1時間40分／中部国際空港から約1時間05分／大阪国際空港（伊丹）から約55分

仁川国際空港（ソウル）から約1時間30分／台中国際空港（台湾）から約1時間25分

〈国東半島での移動〉

おすすめは大分空港からのレンタカー移動。

所要時間目安：大分空港から宇佐神宮約1時間、大分空港から文殊仙寺約45分、大分空港から熊野磨崖仏約50分

観光タクシーもあるが英語のできるドライバーは少ない。

## ツーリズムおおいた

discover-oita.com

Facebook [www.facebook.com/welcometooitapref](http://www.facebook.com/welcometooitapref)

**大分県はラグビーワールドカップ2019™の開催地の一つです。**

p.049

くにさき OYSTER 国東市と漁協、産業機械メーカー・ヤンマーの共同事業で、2015年に誕生した高級ブランド牡蠣が「くにさき OYSTER」。「安全で美味しい牡蠣を作ると同時に、海の環境を守り国東に活気をもたらず事業を三位一体で目指している」と国東市役所の根本晃和さんは言う。人工授精により陸上生産された2～3mmの稚貝（写真中）を中間育成場、干潟、豊後灘海域と移動させて育てるくにさき OYSTER。一口で食べやすい上品なサイズ、食べた後、口に広がる海の味、そして歯応えは牡蠣の概念を覆す。kunisakioyster.com p.48 map J

## ヘルメット潜水株式会社

体を温めれば健康になるという理念のもと、国東の企業、伊賀正男代表取締役が率いるヘルメット潜水株式会社は、ウエットスーツ素材の湯た

んぼ「クロツツ やわらか湯たんぼ」を作っている。この素材は保温性や伸縮性はもちろん防水機能も完璧。体温以下にはならず、低温やけども起こさない優れもの。廃校の校舎を使った工房では、地元の女性達が手作り湯たんぼを作っている。そのニーズは年々高まり、近年は介護ベッドや車椅子、介護用入浴槽への実用化にも着手している。www.cloz.co.jp p. 48 map K

#### 国見の工芸家たち

神奈川県から家族で国見へ移住した「ラパロマ」の中野伸哉さんと陶芸家の周作さん（作品・中上）親子、東京から別府を経てきた「Chikuhō Bamboo Art Lab.」の三村竹萌さん（作品・上）、夫婦で広島から移ってきた「よつめ染布舎」の小野豊一さん（作品・下）、「美器」の岡美希さん（作品・中下）。かつて文化の交流地だった国東半島の国見は、今も来るものを温かく受け入れる風土があるようだ。自由に活動しているだけ、と語るアーティストの面々だが、彼らの存在は過疎化が進む国見エリアを間違いなく活性化させている。p. 48 map L

#### 国東時間

コンピュータで作った設計図をもとに、段ボールをxyzの3軸でレーザーカット。それらを組み立てると出来上がるユニークなクラフト製品は、ディスプレイやパッケージなど応用範囲も多様。「国東時間」の製品は海外からも注目を集めている。しかし何より個人的なのは、この企業の地域とのつながり方だ。代表取締役の松岡勇樹さんは週休3日制を導入、社員は地域でのボランティアやコミュニティの強化に取り組む。社の敷地を使って祭りを開催するなど、社名の通りの活動が話題を呼んでいる。kunisakitime.com p. 48 map M